



JASDAQ

平成 17 年 11 月 1 日

各 位

会 社 名 福井コンピュータ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 小林 眞
(J A S D A Q ・ コード番号 : 9 7 9 0)
問い合わせ先 執行役員経理部長 林 治 克
T E L 0 7 7 6 - 5 3 - 9 2 0 0

平成 18 年 3 月期中間決算 (連結 ・ 個別) 業績予想との差異及び

通期 (連結 ・ 個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 5 月 18 日付当社「平成 17 年 3 月期 決算短信 (連結) 」及び同日付当社「平成 17 年 3 月期 個別財務諸表の概要」にて発表しました業績予想を下記の通り修正いたします。

1 . 18 年 3 月期 中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(1) 業績予想 (個別)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	3,100	395	200
今回修正予想 (B)	3,264	454	280
増 減 額 (B - A)	164	59	80
増 減 率	5.3%	14.9%	40.0%
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	2,928	375	147

(2) 業績予想 (連結)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	3,105	375	180
今回修正予想 (B)	3,265	436	261
増 減 額 (B - A)	160	61	81
増 減 率	5.2%	16.3%	45.0%
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	2,928	366	138

2. 差異理由

(1) 業績予想（個別）の差異理由

売上高につきましては、建築、測量CADソフトウェア、新規事業において計画値を上回る実績であったことにより、前回発表予想より1億6千4百万円増加する見込みであります。

経常利益につきましては、費用が売上高の増加に伴って計画より増えるものの、利益率の高い製品の売上高が増加することから経常利益を押し上げ、前回発表予想より5千9百万円増加する見込みであります。

中間純利益につきましては、法人税等を保守的に見込んでいたことと、繰延税金資産の評価性引当額の取崩などにより、8千万円増加する見込であります。

その結果、中間期における業績は各々において計画を上回り、売上高32億6千4百万円、経常利益4億5千4百万円、中間純利益2億8千万円を見込んでおります。

(2) 業績予想（連結）の差異理由

主に、個別業績予想の差異によるものです。

3. 18年3月期 通期業績予想数値の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1) 業績予想（個別）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,480	930	445
今回修正予想(B)	6,644	989	593
増減額(B-A)	164	59	148
増減率	2.5%	6.3%	33.3%
前期(平成17年3月期)実績	6,224	882	325

(2) 業績予想（連結）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	6,500	895	410
今回修正予想(B)	6,648	950	555
増減額(B-A)	148	55	145
増減率	2.3%	6.1%	35.4%
前期(平成17年3月期)実績	6,224	862	304

4. 修正理由

(1) 業績予想（個別）の修正理由

売上高、経常利益につきましては、中間業績同様に建築、測量CADソフトウェア、新規事業が計画値を上回ることから、各々増加する予定であります。

なお、当期純利益につきましては、法人税等を保守的に見込んでいたことと、繰延税金資産の評価性引当額の取崩などにより、1億4千8百万円の増加を予定しております。

- (2) 業績予想（連結）の修正理由
主に、個別業績予想の修正によるものです。

（注）業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上